

ぴと・いん



★三度目のベルならす“鈴サンタの雪ぞりのベルが聞こえてくる十二月二日、くらぶ“鈴”(生田区中山手一ノ一一三三一—一二四〇三)は三周年を迎えた。

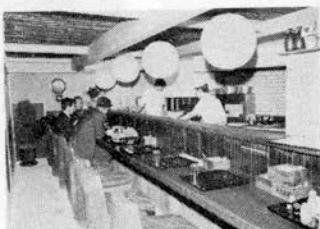
ママの山田昌子さんは、



くらぶ鈴の3周年風景

きたが、十一月二十七日、三宮店を、山本通三星堂向いの東洋プラザ一Fに、一品料理の民芸調お食事処をつくった。設計施工はインテリヤ・イリフネで、本格的に土の香をとり入れた凝ったデザイン。カウンター、八畳、六畳、六畳と三部屋あって、それぞれ自分がかかるべたり、趣きを異にして素朴な田舎風情を出している。

昼食も美味しいお弁当ができるのでお昼間から利用できる。(三宮店)二四一—五



敷戸屋三宮店のカウンター

花隈検番にも鈴丸さんの名前をおくだけあって、もてなしぶりもあかぬけたもの。花隈おどりでも“秋草譜”を踊って尾上流の名取りの腕を見せたはりきりママさんだ。

★敷戸屋三宮店開く
阪急六甲の民芸風レストラント

★アイ・ジョージのあゆみの箱チャリティショウ
十二月九日(土) 山本通

のミリオナーラークラブが、ア イジョージを招いて、あゆみの箱チャリティショウを開いた。第一回、第二回とも



ミリオナーラークラブのアイジョージショウ

●神戸うまいもんとドリンクキング

★TEA ROOM
ダック

神戸市生田区栄町二丁目 佐野
達ビル1F
TEL 331-5053

元町オフィス街に誕生し

たダック。地中海風の白とグリーンの調和が美しい。コーヒー・紅茶一二〇円で毎日変わったクッキーを付けてくれる。そ

れに、ここのご自慢はトースト。六種類もあって、

にディナーワンキのショウウ第三回はショウウのみ。津野

晴夫のバンドにのせて、ア

イ・ジョージはきたえたの

どをご披露した。なおミリ

オナークラブは土曜モダン

寄席を十二月から初め

る。十二月十六日宮川左近

二月三十日レッツゴー三

四。お笑いおさめをする人

も多いとか。

★ドイツ風スナック
アム・ラインをご存知?

生田新道を北上した加古

ビル3Fにヨーロッパの通

路「ライン川」を眺めてい

る光景、のんびりと飲んだり、唄ったり、食事をした

りという純ドイツ風スナック

「アム・ライン」がオ

ブンした。

ママはクラブ小万にいた

千恵さん。ドイツムードの

みだなどで人気を呼んで



お値段は八〇円と二〇〇円で、とてもおいしいのです。この他、焼うどんダックランチなどとメニューもこんでいて、オフィスレディー、ビジネスマン、学生と幅広い人気があります。カウンターで頑張つているのはマコト君といふ学生さん御主人も気さくな人で、お店の中がいつも明るくていいムードなのです。ダックのマークと手製メニューの看板が



酒肆
Nouvelle

ヌ ベ ー ル

神戸市生田区北長狭通2丁目14

Phone 331-9005

あけまして
おめでとう
ございます
1973



千 里

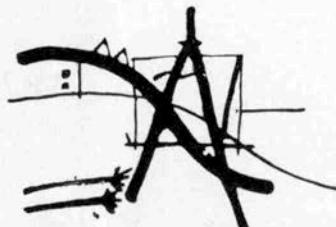
阪本千里

生田区・東門筋東新ビル地階

TEL. 331-4730

●12月は29日迄、1月は4日午後1時より営業致します。

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



額縁製積末

三宮・丸北
トア・ロード
331-1309・6234

おめでとうございます



おもちゃの

カメヤ

三宮方面でのお買物は……

さんかく店 ファミリー タウン 電4045

三宮店 三宮センター街山側 電4969

元町方面でのお買物は……

元町店 元町通3丁目山側 電0090

バンブウ店 元町通1丁目不二家前 電0768



あけまして
おめでとうございます



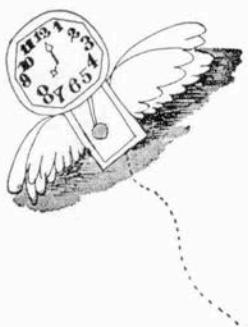
和風季節料理

花

さんプラザ地階 TEL 331-0087

営業時間 AM11:00~PM9:00

神戸百店会
だより



★盛況だった
クリスマスバザール

12月1・2日、明治会館ビル12Fで行なわれた恒例会のラウンドショットKOBELCOクリスマスバザールは、とても好評で、有名八店の関係者もニコニコ顔。ネクタイの元町バザー、

ラウンドショップ国際



ショール・傘のオカダ、バ
ッグのシラサ、宝石のタジ
マ、婦人服飾のエスター二
ユートン、靴のヨシオカ、
着物のみよしや、洋品雑貨
のスギヤと神戸超一流商店
ごひいきのお客さんは、会



明るくオープンしたファミリア

★ファミリア改装オープン
神戸元町本店ファミリアが12月1日増改築し、改装い新たにOPENしました。

ピング。今年は二千人の方がいらっしゃったとかで、その盛況ぶりが伺えまし

がテス張りで明るい店内
ショーウィンドウには、ま
つ白のかわいいゆりかご
や、大きなスヌーピー。あ
なたも白熊のマークのファ
ミリアへいらしてみたら。

品、スヌーピー、コートナー、
2F・ブティックコートナー、
3F・玩具のりもの、イン
テリア用品などをファミリ
アらしく取り揃えている。
一面に敷かれたじゅうた
ん。イタリアンスタイルの螺
旋階段。スヌーピーのブッ
クコーナー。ベビーに関する
ものは何でもそろつてい
るのです。

★元町三丁目・海川魚料理の時雨茶屋が今年で五十周年を迎えました。手には古画収蔵家として、

●ショッピングピックス
★国際会館一Fのベニ-毛皮店で
マスプレゼントセールが行なわれ
ました。お買上げのお客様には、わ
れなく特製カレンダーを。五〇〇円
以上お買上げの方には、シ
ヤネルセットがブレゼントされま
した。ベニ-毛皮店には、今、素敵
な商品が数多く揃っています。あ
なたも一度いらしてみては。

此の個展が開かれました。一九六九年と七二年の三年間に個展用に創作した十四点を出品。心の目で現代をみつめている氏の絵は芸術家、芸術を理解しようとする人々に人気があり、元町画廊念願の個展でした。

品、ヌーベルコーナー、2F・ディックコーナー、3F・玩具のりもの、ティア用品などをファミリーアラフ取り揃えている。一面に敷かれたじゅうたん。イタリアンスタイルの煙草屋。階段。ヌーベルのアパートメント。ベビーに関するもの。ガラス張りで明るい店内。ショーウィンドウには、まつ白のかわいいゆりかごや、大きなヌーベル。なたも白熊のマークのファミリアへいらしてみたら。

★さんちか風月堂喫茶室の絵画巡回展。リーズ・フルナ、ピノコティカ。9月10日から三ヶ月間展示されていました。漫画家庵治安美氏の絵で、同氏の子供絵が登場。どうぞ見てください。この絵は12月25日までかわいい。その後は二ヵ月、日本画の山平義正の美人画が飾られます。美術鑑賞しながら、甘いおせんぎなどはどういかが。

★十一月、沙衣を本業しみに！
一丁目のイクシマヤは落着いたしたシ
ツクなムードがいっぱいです。ハ
ンドバック、アクリセサリー、陶芸
器が品ぞろ富で並んでいます。陶
器には以前と同じワゴン、どう
しり重い陶器の灰皿や、コヒーリー
カップ、お湯呑み、お猪口が子軽
なお値段で、並んでいて、ごきげん
よの値段で。

ポケットジャーナル

い神戸つ子の評判は上々。
大人気を呼んでいる。

Walkin-Style 115



★高村智恵子さんの「あじり、費用は約二千万円といふ。」を大壁画に

神戸市が建設中の市立中央公会堂（生田区楠町）の南側壁面に、
「神戸市」の花アジサイがモザイク壁画として組み込まれることに決
まりました。

晩年に制作された花をテーマにした紙絵作品のうちの一つ、「あじさい」を高村家の承諾を得て使うことになった。

肌色の花瓶に生けられた
一輪のあじさいは薄青色。
淡いピンクの地に描かれて
おり、静かな趣きをたたえ
た絵で専門家にも高く評価
されている。

工事の監修には、田中容
画伯（川崎市在住、第一回
安井曾太郎賞受賞）があたる。

店をオープンさせた。
場所は大丸神戸店一階。



歩行者天国には広い通りでも0・K

い神戸っ子の評判は上々。大人気を呼んでいる。

Walking-Styleをとつて
いるので、誰でも気軽に立ち寄って好みのものをパクつたり、飲んだりできる仕組みになっている。営業時間は、午前八時と午後八時。原則としては年中無休となっている。

ファースト・フードとは、"速さ"を一つの売物とす る食品群のこと。清潔なお店で素早く手にできるハンバーガー。品質も一〇〇%純ビーフ・パティーとこれば、もう最高！

ハンバーガーと並んで、ドリンクの方はルートビア

こちらはニュータイプの清涼飲料。草木の根をエキスにした天燃飲料で自然をのもうといふもの。米国で

八一

ア

トピ

步行

27

誕生日
ありがとうございます



★私の心
（ちえおくれの子らの、
作品集「大きくなつたら」より）

私は小さい時からこんなにくなつた。小さいや大きい人にいわゆる「お嬢様」の扱いをうけられていてばかりいた。うちある時、母のつだいをするのががむしゃらだった。私のできるしごとをいっしょにやるんめいしたい。久留米の大病院にいくて、お父さんもじごとを早くおさへさせた分まで、お父さんもじごとを早くおさへさせた分まで、親を安心させ、努力協力、かんしゃをわかれず、生きて行きたい。どんなに思つても、自分がしっかりしてたら何でもやれると思つてゐる。人間と生まれたがりを願つて生きてたい。(成人施設人園生) ええおくれといふ障害を持つ人たちが、懸命に生きています。同じ社会人として、彼らへの理解協力と連帯のひろがりを願っています。彼らも含めて全ての人が「人間と生まれたがり」がで生きることができます。ちえをお借しまであります。(本部まで)

は“絹の飲物”として根強い人気がある。

A & W ハンバーガーレス

トラン日本展開第2号店は大丸心斎橋店に決定、一月下旬か二月上旬にはオープ

ンの予定とか。今後五年間に二〇〇店のフランチャイズで進める。その第一号

店、まだお試しの方、ぜひどうぞ。メニューハン

バーが一八〇円、ホットアッ

ブルパイ六十円、フライドボ

テト六十円、ルートビア(小)

六十円コーヒー五十円etc。

★さよならブラジルのシ

マンたち！

神戸っ子サンバスクール

でおなじみのブレジデン

ワシントン・ルイス号(三

意)

菱重工のドックで拡トン中

のタンカー)の船員さん達

は本場のサンパリズムをコ

芸術文化団体「半どんの会」

のパーティが開かれる。

今年は12月8日約三百名

の多彩な文化人が集つて神

戸大丸大食堂で開かれた。

今回の文学受賞者は『頤

田島一二郎(尼崎市・歌人)

川口志保子(姫路市・童

話作家)

オブリガルド・シーメン



一チしたが、十一月二十五日には、神戸海員会館で、兵庫県肢体不自由児協会の主催するチャリティーショウにも出演して日伯親善を深めた。

その様々な親交にこたえ

て十二月七日お別れサンバ

(サンバラザ七F)で開き、

神戸っ子サンバスクールと

甲南大学ブラジル研究会の

メンバーなど約五〇名が集

まつにぎやかなサンバの

リズムと踊りに楽しい陽気

なひとときを過した。チャ

リティショウ出演のため記

念品贈呈もあって、心暖た

まる親善の夜だった。オブ

リガルト！(ありがとうの

意)

★年の瀬に半ドンの会

12月を迎えると、恒例の

芸術文化団体「半どんの会」

のパーティが開かれる。

今年は12月8日約三百名

の多彩な文化人が集つて神

戸大丸大食堂で開かれた。

今回の文学受賞者は『頤

田島一二郎(尼崎市・歌人)

川口志保子(姫路市・童

話作家)

美術賞=元川嘉津美(神

戸・洋画家)

戸・洋画家)

精氏(七〇)は、世阿弥研

★古稀記念に香西精氏
能譯新考 発刊

兵庫米穀K.K.社長の香西

精氏(七〇)

は、世阿弥研

五〇円。

★古稀記念に香西精氏
能譯新考 発刊

兵庫米穀K.K.社長の香西

精氏(七〇)

は、世阿弥研

47年度年次文化芸術祭			
★兵庫県立近代美術館	巨匠ブールデルの全貌展	休館	1 11 27 18 2 1 25 21
★白鶴美術館	佐藤光復美貨人画展	1 8 1 10	1 19 1 24
★そごう百貨店六階画廊	第6回「松会新春名流書道展	1 13 1 17	1 1 1 17
★三宮ビル南館「階特別会場	民芸古舟波と立杭焼展示会即売会	1 4 1 10	1 1 1 10
★KCCKギャラリー	KCC児童教室書初展	1 4 1 10	1 1 1 10
★三宮ビル南館「階特別会場	第14回名古屋賞状展	1 4 1 5	1 1 1 5
★KCCKギャラリー	現美集団兵庫文部展	1 9 1 15	1 1 1 15
★三宮ビル南館「階特別会場	虹の会洋画展	1 1 1 5	1 1 1 5
★KCCKギャラリー	第3回武庫川女子大写真部展	1 6 1 5	1 1 1 5
★さんちかが場	お正月おもちゃ大会	1 3 1 5	1 1 1 5
★三宮ビル南館「階特別会場	新春を寿ぐマの生花展	1 6 1 10	1 1 1 10
★三宮ビル南館「階特別会場	ケミカルジュースフェア	1 12 1 15	1 1 1 15
★三宮ビル南館「階特別会場	第3回紅蘭会門下生作展	1 18 1 23	1 1 1 23
★三宮ビル南館「階特別会場	日本水彩兵庫支部展	1 11 1 15	1 1 1 15
★三宮ビル南館「階特別会場	日本水彩兵庫支部展	1 6 1 10	1 1 1 10
★三宮ビル南館「階特別会場	神戸市定期制高校作品展	1 12 1 23	1 1 1 23
★三宮ビル南館「階特別会場	「アフガニスタン」小山保写真展	1 1 1 5	1 1 1 5
★三宮ビル南館「階特別会場	瀬川澄子造花展	1 1 1 15	1 1 1 15
★三宮ビル南館「階特別会場	日本清水一写真展	1 1 1 15	1 1 1 15
★三宮ビル南館「階特別会場	豊田清久・神戸風景	1 1 1 30	1 1 1 23



盛会だった半ドンの会

美
術
ガ
イ
ド



究家としてその学問的業績

は、「世阿弥新考」(昭和三十七年)「続世阿弥新考」(昭和四十五年)いずれもわんや書店刊)に集成されているが、昨年末、京都の檜書店より、世阿弥に照らす『能謡新考』を発刊された。

『世阿弥に照らす』、作者

と本説『世阿弥誕生六百

年記念の座談会『世阿弥の

能』、能と茶・書・禪など、『謡曲界』『宝生』『觀世』『文学』等に執筆され

た論考を表章氏の編集でま

とめたもの。双眼を病まれて、読み書き不能の氏が口述著作で、世阿弥に全力投



昭和年代の選挙

第三十三回の総選挙が終った途端に、各新聞社とも我が意を得たりとはかりに特大の見出して共産党の躍進という字が躍つた。共産党が票をのばしたということとは、岡日八目的に見れば選挙上手といふことであって、票がの

昭和年代の選挙

第一章

KOBE POST

神輿には神官が、仏輿には僧侶が付添い、旅館の主人

が元気な様子は嬉しい限り

球される姿は貴い。「こ

は本格的な編集で、好い眼

を見るのも眼が悪いから

だ」とだけが出来るほど

お元気な様子は嬉しい限

り。二八〇〇円(住所・神戸市東灘区御影町郡家千本

田一ー九の六)

★有馬温泉入初式

毎年一月二日、市営有馬

温泉会館の階上で行なわれ

る入初式という古式ゆかし

い行事がある。

有馬温泉の守護神「温泉

神社」から主神のご神輿と

同温泉開発中興の恩人、行

基と仁西両僧の本像に、正

見られるのもおもしろい。

聞きのがせない。

式が終わって神輿の退場

の時、会館前で神輿と湯女

が別れをおしんで、寄せよ

返せよ、と押しあう場面が

見られるのもおもしろい。

★邦舞の花柳芳次郎さんが、自宅改築にあたり十月一日より約八ヶ月左記に移転されたとのお知らせがありました。T(東京都中央区湊三ノ十二ノ七番〇二七八八)

★兵庫トヨタ自動車KCCの役員が新郎客となり取締役社長龍川勝二郎の皆さんが就任されたことがあります。T(神戸市芦屋区鷹辺通四丁目七番地の二三)

★このほど発足した神戸フアッショントンシェーション(K・F・A)の仮事務所は、T(神戸市生田服飾内、番〇二九一)です。

★アトリエギヤーさんの前川清明さんから、十一月二十四日より「KKギヤーのそんぬ」として新発足、移転営業しましたところあさつがあります。T(神戸市生田区花隈町99ー1大建ビル1F)

番〇七八三八二一〇二四

★本誌のさし絵でおなじみの新制作の石坂春生さんの新作個展が、一月二十九日と二月三日名古屋駅前のフォラム画廊で開かれます。

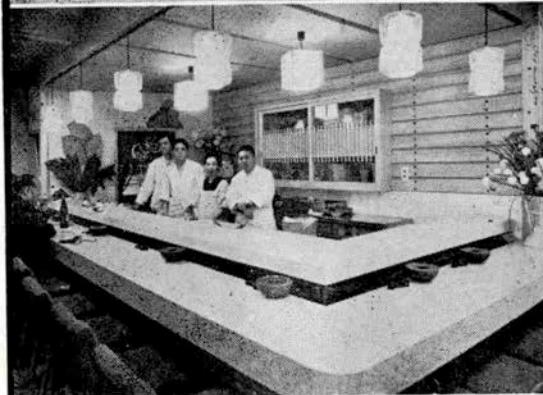
大阪では四月の予定。

★「かねてつ」食品KKKの故村上鉄雄社長の追憶集「鉄心」が、このほど、現社長の村上忠雄さんを始めとする編集委員によって刊行されました。

★おわび

十二月号の特集神戸の中の中国座談会で、文中、鈴木次郎と鈴木久五郎に、また陳徳仁さんの肩書き中商行社長を「神戸中華総商会長」に訂正いたしました。

ゆったりと落ち着いたスペースで
新しい“味”をご賞味ください。



鮓の又 宅

神戸三宮生田ノ社ノ西
電話・三の宮 (331) 0935



おいしさが
口いっぱいに
ひろがる……
本場の味



- 三宮センター街柳筋店
TEL 321-3446・331-0572
- 新開地店
TEL 576-1191
- 平野店(平野市場内)
TEL 361-0821
- 三宮センター街サンプラザビルB
TEL 391-3793

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十一年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店
神戸三宮センター街 TEL(391)026



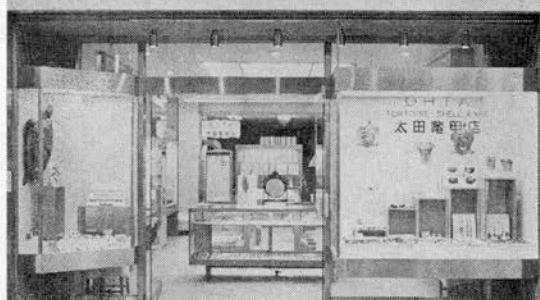
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

A HAPPY NEW YEAR

太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop

ケント

元町 3 TEL(321)0356

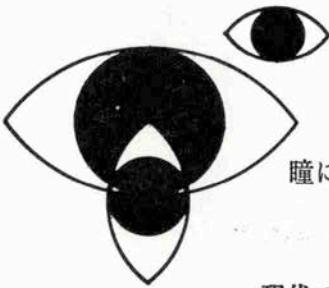
やつぱりうまい
むさしのどんかつ
てんわ・
321 321 331
○六三七七一
六三四五
コトベ三宮
サシ

高級紳士服専門店
神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL (391)0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331)2817・3173

A HAPPY NEW YEAR



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所
神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (251)8161・(231)2570

おもしろ
てんぶら
本店 大丸前・三宮神社東
TEL (331)5677
(毎週水曜日休み)
TEL (391)5233
(第3水曜日休み)



営業時間
A.M.11.30～P.M.9.00

異人館物語

〈6〉

ジエームス山哀歌

小山牧子



あらすじ　年のころ五十歳を少しすぎたと思われる初老の女が塩屋の高台をゆっくり降りていく。彼女、中井ふさは二十歳そこで郷里の潮岬村を出、英國系カナダ人E・W・ジエームスの雇人となり、五年前ジエームスが逝くまで彼の寵愛を受ける。彼にちなんで名づけられたジエームス山の中腹から塩屋の海を眺めながら、彼女はジエームスとの過ぎし日の出来事に思いをはせていく。

明治時代といえば多くの異国人が神戸に移り住み、西歐文明を背にして活躍した頃だが、E・W・ジエームスも数少ない相場師の一人で、兵器売込みでもうけた金で塩屋の不動産に目をつけはじめていた。そして塩屋のジエームス山にはしたいに大規模で自然と調和した外国人居住区にできあがっていった。

日に日を追つて、塩屋の山は生みの親であるE・W・ジエームスが夢想した形にその姿を変えていった。

木立の間に深くかくしまれた西洋館には、英国人は勿論のこと、あらゆる国籍の異国人家族が住みつき、彼らの日常生活をささえるために、キリスト教教会が、この山の祖先神のようにしてまつられているお稲荷さんの小さな祠に軒を並べて建てられた。やがて、彼ら、異国の民がたっぷりと持つていて甘い

蜜を求めて、貧しく勤勉な人々が蟻のように集まつてくる。洋服屋、調理人、西洋洗濯屋、運転手、女中、阿媽……等。

さまざまの人種、さまざまな職業の人間集団を込み込んだ山は、独裁者E・W・ジエームスを頭にいただく、日本の国内では例を見ない排他的で治外法権の色彩をさえ帶びた一郭となり、それはまさにジエームス王国の觀をさえ呈したといつても言い過ぎではなかつたであろう。この地に移り住んでからのジエームスは、保守性とイ

ギリス的守銭奴に徹して生きたようである。

『犬と日本人の立入りを禁ず』

彼の土地の周囲にむらがる王国と無縁な日本人への言動は、この言葉ひとつに集約された。

実際、彼に労働を提供しないし、商品も提供しない日本人は、彼の目にはガツガツと飢えた不快快きわまる存在でしかない。彼等は、ジエームス大王にとってイギリス人がこよなく愛する犬族以下の存在であったであろう。

無理からぬことと思える点もある。例えば、犬ならば大切な彼の所有地に入り込んでもせいぜい野ネズミを追いかけるか、木の根のあちこちに大小便をたれてまわる程度のワルサをするのが関の山だろう。ところが、日本の勤勉な庶民に門戸を開いてみろである。垂水近辺に住む花売りは、ぞろぞろと山に入り込み、榦、檜（しきみ）の木は、たちまち丸坊主になるほどに枝を折られ商の種にされるだろうし、「盆石」の専門家や趣味人間は小さな木を根こそぎ抜いてゆくだろう。子供ずれのとうちゃん、かあちゃんは大挙してビックニックとかに押しかけ、そこいらあたりに紙クズと空きカンの山を作り、帰りには桜の枝や美事に咲き競う躊躇（つづじ）の枝を折り取つて持ち帰つてしまふだろう。

といったことから、のちの世に悪評高い例のコン棒状のステッキを持つたジエームス自身が、彼の王国をパトロールする習慣もできたものと考えられる。

が、このがめつい屋の異人さん、ジエームスは日本人から被害をこうむるのは大嫌いな方であつたが、日本人をこき使う段になると、無類の人使いの荒らさを發揮したらしい。

どこの社会にも共通することであるとはい、西欧の会社や家庭に使われる日本人が持つ疎外感は特に強い。

彼等は日本人社会から孤立した外国人居住区で肩を寄せ合い、互いの疎外感や、言語風習の違う異国の雇用主

から受けた傷をなめあいながら、小さな閉鎖社会を作っている。

彼等は、やがて二つの顔を持ちはじめる。自分たちと同じ日本の同胞にむかっては、雇主である富裕な西欧人を自分の仲間と錯覚しての優越感。別の顔は、先進文明以上に自分の貧しさを意識する劣等感――。二つの顔は、彼等の内部で激しく相剋し、あいながら、やがてそれ

ぞれの日本人個有の誇高く純な人格を磨滅させてゆくのだ。

決して満たされることのない貧しい心を抱いて西欧人の日常生活に奉仕する日本人につか『屋敷もの』というさげすみの名が、この閉鎖社会の外で生きる同胞から与えられていた。

異人さんたちは、パーティが好きである。美しい東洋の島国にそれぞれ祖国の風習を持ち込み、この街に住む数少ない友人知人を招きあい、夜を撤して踊りあかし、語りあかす。復活祭、花まつり、海びらき、誕生日、エトセトラ……。おだやかな瀬戸の海を眼下にのぞむ、異人屋敷での快樂の夜はさぞ楽しかったであろう。

クリスマスの頃には、山に雪がくる年もあった。雪は道路や樹木の梢に降り積み、あたりを白一色の世界に変える。祭の日には門にまでも新しく化粧をほどこすのを道に面して朱色に塗りたてた清新しい門が、あざやかな光沢を放ちながら、白一色の世界に嵌込まれていてたりするものが、ジエームス山の抒情的風景であつたりする。

そんな夜は雪に閉ざされたジエームス山の坂道を、何台もの高級乗用車が高いエンジンの音を響かせて登つてゆくのであつたが、彼等、異人さんたちの快樂に奉仕する『屋敷もの』たちは、終日腰を降す暇もないほどに迫いたてられるのだった。そして、明けに近く、寝はてたあととの白々しい気分と、疲れはて棒のように硬直した身体を引するようにして、彼等のたまり場になつてているカントリー・クラブの調理室にやつてくる。

イブの夜は、クラブの調理場も明け方まで火を焚いていた。その火でコチコチにこごえた身体を温めながら、

彼等、屋敷の召使いたちにクラブのコックもはじえて、長い一日、「イエス・サア」「イエス・マダム」の短い言葉と身をかがめる姿勢で堪えてきた燠るもの吐きだしはじめたのだ。

その日は悪い条件が更に重なり、降雪のため車の中に美しく着かざつたレディ達をはじこめたまま、ジェームス山の私道は通交不能になつた。

「ジェームスの旦那も殺生やわ。あの雪でくるぶしまで埋まつてしまふような道をパーティの客、背負うて歩け言ひよるのや」

車の中で立往生した女客を背に、目的の住宅までの坂道を登るのは、並大抵の力仕事ではない。

「重たいのなんのいうたら……死ぬかと思うたわ」

「ぶうぶう言ひな。それも役得いうもんや。おかげで一生触ることなんかでへん金髪のべっぴんさんのお尻、抱っこしてもろたんやないか」

「ばっかたれ！ わしが背負うたんはデブのおばんじや」

淫らっぽい笑いの渦が人々の輪にひろがり、その余韻は白みかけた雪の戸外へ散つてゆく。

「ああ。ジェームスゆう男は、シブチンに輪かけて、フ

ンドシしめたよう男や。血も涙もないわ」

「そやけどな、ケチもそこまでいつたら感服もんやけどジェームスがあんたにそんなえげつない仕事を言いつけるのは筋違いくちがうんか」

「そうや。わしは、なにもジェームスに使われとるんと違うねん。この山全体の警備員しとつて、偶然そこにゆきあわしただけなんや」

「おやじさんにとつたら、わし等、日本人の男はみんな同じ顔しとるんやろ。それで、だれかれの区別なしにアゴでこき使うんやで」

四十歳すぎても異人さんから

「ハイ・ボーイ（少年）」

と呼ばれ、時たまは

「ユー・クレバー（お前は賢い）」

とおだてられ、深い皺の刻まれた顔で、自分の卑屈さを恥じながら相好をくすさずにいられぬ彼等。仲間同

志、寄るとさわると互いの雇主の吝嗇さ加減、横暴さ、えこひいき等の数々をぐらりあう彼等。まるで、その行為自体が一種のカタルシスであるかのように――。

が、やがて彼等は人種の違う雇主を、めずらしい動物に関心を持つように、心の奥で愛しはじめる。どれほど憎しみの矢を射込んでも決して、この奇妙な獸にとどきはしない。よくつきあつてみれば、毛唐という奴は、單純でおおらかで、仲々いい奴ぢやないか。奴等が、自分

をないがしろにするのは、あの無邪気な動物の近くにいつも待つてゐる日本人のゴマスリ野郎のせいだ。そんな発想を持ちはじめた時、彼等は、それぞれの憎悪を身近にいる自分たちの仲間の一人にむけるようになる。そして、折々、彼等の嫉妬と怨嗟の対象は、ジェームス邸の奥女中、中井ふさにむけられた。

当時、同じ『屋敷もの』仲間でありながら中井ふさ一人が、彼等の輪から抜きんでた存在になつてゐた。ある古老の言葉を借りるならば、『女王のように君臨して』あつたらしのである。

深窓にあるジェームス夫人に代つて、旦那とあやしいと噂されたふさが、ジェームス王国の女王さまぶりを揮したのか。

現実にジェームス邸の奥女中を勤めながら、洗練されたイギリス淑女としての教養を身につけた夫人の目をかすめて、ジェームスと情を通じることができたか疑問は残る。が、中井ふさ自身が決してその風評を否定しなかつたばかりか、むしろそれを誇つていたのだ。

たとえ淫らな噂がつきまとつても、並いる召使い仲間を尻目に、雇主から特別に目をかけられることで、仲間

や出入商人たちの上に羽振りきかすことが出来るならば……それは、貧しい境遇に育ち、勝気で虚榮心の強い女にありがちな心の動きであろう。

ジエームスの側からいえば、その風評は至極迷惑であつたに違いない。たとえ、中井ふさに好意を持ち、肉体を通じたにしても、深い愛情に根ざしたものではなかろう。典型的なイギリス紳士である彼のこと、保守性と差別の意識は十分に持っていたはずだ。

そして、中井ふさの肉体に触ることで、彼の家庭がみじんのゆるぎも見せなかつたということは何を意味するのか。

彼等夫妻が、中井ふさという貧しい日本娘を人とも女ともみとめずにすませる時のみ、夫人はベットを可愛がる夫の行為をやさしく見守る寛容な妻の立場に安住できるのではないだろうか。

しかし、ジエームス夫妻の自分への対し方がわかつても、中井ふさにとっては、二十歳前に故郷である南紀の漁村を出て、はじめて尊敬の目で見上げた男がE・W・ジエームスである。それ以後の長い年月、ふさの旦那様への思慕は、簡単に切捨てられるものではなかつた。

後年、ふさは親しい友人に、

「わたしも人からきれいやいうてもらえた女や。一緒に世帯を持とうというてくれる男の人もたんといてた。

そやけど、いざというと、どの男もどの男も、まるつきり生彩のない影絵みたいなもんになつてしまふんや。いつもそばにいてはるジエームスさんが、あんまり立派すぎて、精が強すぎるんや。おのお方は、私のことをよう尻尾を

やでいやでたまらんようになつてしまふんや。いつもそばにいてはるジエームスさんは、前に出ると蛇に見込まれた蛙みたいになつてしまふ。おのお方の偉大振る飼い犬みたいに思うてはつたの私はよう知ってる。そやけど、私はいつも、ジエームスさんの前に出ると蛇

さと魅力にのまれたというか、魂を抜かれてしまうやな。それで、とうとう一生を棒に振るような生き方をしてしまふたけど、後悔はしてまへん」

人間のエゴイズムと女の悲しみ、異なつた人種のさまざまな葛藤を織込んで、山の縁だけは、人間の愛憎の世界を知らぬげに、年々深みをまし、ジエームス王国の平和と豊饒さを喜ぶように、数々の鳥や獸、そして植物たちがこの地で愛しあい、その数を殖やしていく。

(つづく)

★新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

〈新年号予告〉

- 表紙／上村松篁『万葉の春』
- カラー写真／連載①「刻む」石——
岩宮武二
- グラビア「真理を究める」
末川博、堀絢夫、田中美知
太郎、古林喜楽、吉川幸次
郎、桑原武夫、貝塚茂樹
- グラビア「初春をいろいろ——祇園
の芸妓さん」
峰子、紗予子、ゆり子、豊
千代、遊香里、荳葉、照子
- グラビア「And His Ladies」——
石浜恒夫
- グラビア「私の散歩道」——白石古
京、森下泰、福富芳美
- グラビア「この人この時」——和泉
雅子、上村松篁、早石修
- 新春座談会——会田雄次、小島輝正
原清
- 連載対談「ボルノ文化論」——朝山
新一、木崎国嘉
- 現代漫画文化論「取り戻せ野党精神」
- 隨想「断ちきられる伝統文化」
吉田光邦
- 激動のアラブを行く②「モロッコ」
- 織田作之助伝「波瀾万丈」大谷晃一
- 創作／新橋遊吉

月刊オール関西編集部

大阪市北区梅ヶ枝町80 梅新東ビル7F
TEL 06-364-2434~7(代)

曲線ハイウェイ

武田繁太郎
え・横塚繁



あらすじ ★東名高速 浜名湖サービスエリアで 多木洋介は若い女性宇津康子と知合い、幾度か逢瀬を重ねた。康子の魅力にひかれた多木は、正体を知るため、神戸出身の友人岡本和彦と共に東名神を通り、神戸へ来た。康子を見出せぬ多木は、彼女の面影に似た辰馬英子を紹介され、六甲山をドライブに出かけた。ロマンチックな情景に誘われて英子を抱きしめた多木の胸に、始めて感じないとおしさがついた。その夜須磨のホテルで二人は愛をたしかめあつた。そしてさりげなく二人は別れた。

そしてある日突如として現われた康子からの電話で、レストランで会った多木は、その足でTホテルに向い二人の愛を確め合つた。その翌朝、康子は神戸からの電話で再び風のように去つていった。その置き去られた淋しさと孤独に多木は康子を慕い再びKOBEn 来ていたが、康子を追い神戸に来た筈の多木は、友人岡本の早呑み込みと、神戸の雰囲気のなかで辰馬英子を探している自分に気付いた。そして、数軒の店をめぐり歩いた後、英子をみつける。

そこで約束どおり、二人は淡路島へのドライブに出た。西海岸をめぐつて後、二人は州本の海岸近くのホテルに憩つた。神戸に戻つたのはもう夜だった。エキゾチックなムードを楽しみ食事を終え、薄暗い街で多木は……

O ホテルについて、レンタカーをかえすと、多木は、意氣ごむように言った。

いつから、彼は、そうして意气こんでいる自分に、自分でおかしくなつていた。この街にくると、やたらにうまいものが食べたくなるのである。そういう魅力が、この街にはあった。

「どこかで、うまいものをたべようよ」

もう夜の七時をすぎていてた。
淡路からふたたびフェリーで、神戸に戻つてくると、

「なになさる？」

英子も、多木の胸中を見抜いたように、微笑しながら

たずねた。

「そうだな。昼は魚をたんのうしたから、夜は、肉料理がいいな」

「ステーキ？」

「うむ。いいね」

「じゃ、ちょうどいいお店があるわ。Sって、新しいステーキハウスなの。そこへいきましょうか」

「君がいいって言うんなら、いいよ」

二人は、さっそくOホテルをでて、生田筋のほうへ歩んでいった。

「Sはね、ゆうべ、あなたと逢ったPってピツツアハウスね、あのPがはじめたお店なのよ」

英子は、生田筋の入口の赤い鳥居をくぐりながら言った。

彼女はPの常連で、こんどSのマネージメントをうけ持つようになった支配人ととも馴染みだといふ。

「じつはね、あたし、Sが開店してからまだいちどもいたことがなかつたんだけど、今夜はいい機会だわ」

そう思つて、英子は、多木を誘う気になつたのだろう。どうやら、Sは、ピツツアハウスのPとはちがい、英子などのような学生が、気軽に立ちよれぬ店のようであった。

Sは、Pのすぐちかく表通りからちよつとはいつた、狭い路地の奥にあつた。建物は、日本旅館を改造したものだといふ。入口はSのマークを染めぬいた暖簾がかかってた。入り口の柱に白壁のあざやかな、民芸調の店だつた。

「や。辰馬さん。いらっしゃい」
出迎えたきもの姿のボーアも、英子とはPで顔馴染みだつただろう。

「東京からお客様がいらっしゃったので、お連れしたのよ」
「そりや、どうも。さあ、どうぞ」
二人は、二階の座敷に案内された。

日本座敷のこの部屋も民芸風の造りで、部屋の装飾にいろんな骨董品がならべられてあつた。正面の床の間に、褐色のつやのある、がっしりとした大きな簾がおかげであつた。

「ああ、あれ、仙台簾って、いうんじゃないのかな？」
仙台辺の古い農家でみたことがある。すごい簾だな」

多木は、感嘆したように言つた。

凝つた、しゃれたセンスのある店だと、多木はあらためて座敷のなかをみまわした。洋風造りの、いわゆるステーキハウスとは、まるきり趣きを異にしていた。

「いらっしゃいませ。東京からお越しいただいたそうで、どうありがとうございます」

支配人があらわれ、多木に挨拶した。まだ三十前後の年ゆきだったが、この若い支配人が、店の造作などをいつさい手がけたのだといふ。

「なかなか凝つたお店ですね」
「ありがとうございます。まあ、神戸にもこういう店が一軒ぐらいあつてもいいと思いまして。おかげさまでご好評をいただいております。とくに、外人の方に気にいつていただきまして、東京からおみえになつた外人の方も、よくお越しくださいます」

そういうえば、東京にも、多木の知るかぎり、このSのようないい店はみあたらなかつた。

「東京からきた外人も、このお店を好むというのが、おもしろいですね」
多木は、興味をそそられたように言つた。

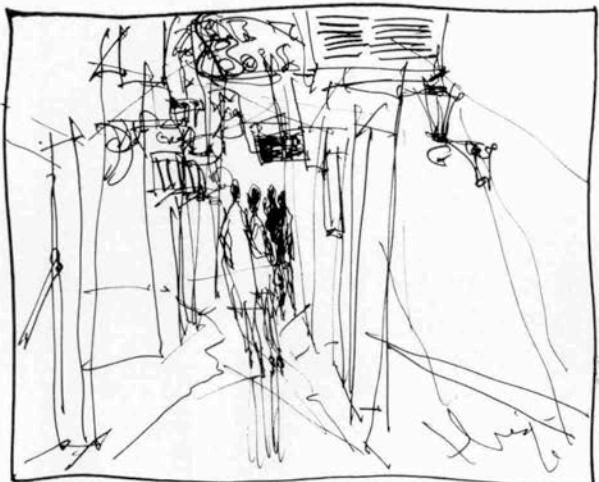
神戸は、戦前から、異国情緒にあふれた街だといわれてきた。戦後は、街のたたずまいもかなり変つてしまつた。だが、それでも、多木など目の目には、東京では見られないエキゾティックなムードが、まだまだこの街には感じられた。

それは、自明の理であった。彼らにとって、ここは、彼らの祖国ではない。日本人が異国情緒を感じるその異国でなかつた。異国でない土地に異国情緒など感じるはずはなかつたのである。

だが、この店はちがつていた。こうした日本的な造りやムード、つまり、外人たちにとっては異国的な情緒のなかで、彼らの祖国の料理であるステーキを貢味できるというところに、おそらく外人たちは、一種エキゾティックな魅力をおぼえるのだろう。

そして、神戸はこのSのような店があるというところに、いかにもエキゾティックなミニト街神戸の面目が躍如としているように、多木には感じられるのであつた。座敷の隅には、調理台がしつらえあって、コックがあらわれ、その調理台で肉を焼きだした。火は炭火だといふ。牛肉独特のこうばしい匂いがたちはじめた。

やがて、堀りごたつ式の大きなテーブルに、ステーキ



が運ばれてきた。トマトのなかにいれたドレッシングがそえられてあつた。手ぐすねをひいていたように、多木は、ナイフをとりあげた。

「こりや、うまい」

彼は、神戸で牛肉を食べてみて、牛肉といふものには、新鮮なミルクのような匂いがあるものだということを、はじめて知らされた。それは東京では嗅ぐことのできない、牛肉が本米持つてある特有の香だつたのだ。

このステーキからも、多木は、ほのかなミルクの香を嗅ぐ思いがした。これが、ホンモノのビーフといふものなのである。

シャトーブリアンのワインの味も、格別だった。かわいい小瓶にはいったこのワインは、瓶にPとSのオーダーだというラベルがはつてあり、甲州産だが、この店ご自慢のワインだった。

「いかが？」
英子も、フォークとナイフを使いながらたずねた。
「いうことなし」

多木は、あぶらっぽい口に、さわやかなワインをふくませながら言つた。

「このステーキに、このワイン。こういううまいものを味わつてみると、しみじみ生きてることの幸わせつてものを感じさせられるな。公害だインフレだと、つまらん世の中だけど、まだまだこの人生も捨てたものじゃない。このステーキがそういうてるよ」

若いくせに、妙に老成ぶつた多木の言葉が英子を苦笑させていた。

ゆつくりとステーキの夕食をたのしむと、二人は、支配人やボーカたちに見送られて、Sをでた。

まだ十時まえだった。Sの勘定は多木が払おうとしたが、英子がどうしても払わさせず、英子のおごりということになつた。その返礼に、多木は、どこか英子の知っているバーにでも誘うこととした。

「あたし、今夜はあまり遅くなれないから、じゃ、一軒だけ、Gというお店にでもよつてみましようか」

二人は、そのGというバーがある東門筋のほうへ歩んでいった。

「多木さん。こんどのご予定は?」

「そうだな。こうして君にも逢えたし、あすにでも東京へ帰ろうかな」

「そんなに早く?」

「気まぐれみたいに、やつてきたんだからな。こんどは、君が東京へくる番だよ。いつくる?」

「いつって、あたしは、あなたとちがつて、そう気ままには動けないわ」

「やっぱり、女のコは損だ。君がこられないんなら、また、こっちがでかけてくるか。東京で逢うより、神戸で逢つたほうが、ずっとたのしいからな」

二人は、生田神社のほうへでる裏通りのような道を歩

いていた。この辺にも、バーやクラブが軒をつらねていたが、そうした店がとぎれると、きゅうに、裏通りらしく人通りもまばらで、薄暗くなる箇所があった。

多木はどこを歩いているのか、正確にはわからなかつた。その薄暗い通りで、多木たちのすこし前方を、二人の男女が、多木たちとおなじ方向に歩いていたことも、はじめのうちは気づかなかつた。

なに気なく多木はその二人の男女の後ろ姿に目をとめた。男は、背の高い中年ふうの外人で、女は、髪を長く垂らした、まだ若い日本人だった。

ふいに、多木の目がひかつた。思わず、多木は、息をひそめた。距離は十五メートルか二十メートルほどあつたろうか。腕を組んだ二人の男女は薄暗い個所から、店の灯のあかるくかがやいている箇所にでた。

多木の目は確認した。彼は駆けだしたい衝動にかられた。だが、彼のそばには、英子がよりそつていた。多木は走れなかつた。

(つづく)

〈神戸の催物 1月ご案内〉

〈音楽〉

★江利チエミ

1月11日(木) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 民音 会員券 950円



▲「飢餓海峡」の
太地喜和子

★トリオ・ロス・パンチヨス

1月12日(金) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 民音 会員券 800円

★第41回関西学院グリークラブリサイタル

1月13日(土) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 入場券 A400円 B300円

★吉田拓郎リサイタル

1月15日(月) P.M. 1:30~4:00 神戸国際会館

★エレクトーン・ニューイヤーコンサート

1月20日(土) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 入場料1000円

★チャイコフスキイ くるみ割り人形

1月28日(日) P.M. 6:00~9:00 神戸国際会館 民音 会員券 900円

★朱里エイコ

1月30日(火) 6:30~9:00 神戸国際会館 労音

〈演劇〉

★新春特別公演「夫婦善哉」

1月1日(日)~10日(水) 昼の部 A.M. 11:30~P.M. 3:00 夜の部 P.M. 4:30~P.M. 8:00 元旦のみ 1回

P.M. 1:00~4:30 神戸国際会館 入場料 特別指定席1500円 指定席1000円

自由席 500円(前売り) 700円(当日)

織田作之助/原作 逢坂勉/脚本 竹内伸光/演出

出演/藤田まこと、野川由美子、芦屋雁之助、花紀 京他

★飢餓海峡

1月16日、17日、18日 P.M. 6:15分間演 神戸国際会館

労演 800円

水上 勉/作 木村光一/演出

演出/高橋悦史、太地喜和子他

〈その他〉

★国立モスクワバレエ団

1月29日(月) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館

入場料 S\$4500円 S4000円 A、B3000円

C2600円 D2200円



★「都会人生」
知つてゐる人は誰もいない。
ムリヤのこの世界。

よく似た顔にドッキリしても、
眼が、ほんのチョッピリ、
いたずらしただけ。
これだけの人がいれば、

★前略

世と申します。大阪出身者です。
ザ・ベンチャーズとかペニス・バー
テーと/orioロス・パンチャ
スの会社をしてバンコク、台北
京城、東京、岩手県平泉を廻って
ます。
「世戸戸子」が商業誌になつて
シカゴのシアー・ゴビル10階にオフィス
スをまえで、コミッキー・スタジアム
ムの野外席をエディター一同で眺
る夜かららんことを切望します。
レジタントは、くそたの役にも立
ません。
馬鹿でもプロフェッショナルは地
かだと、ふと黒手紙を出しました。
「東京都・アレキサンダー・一世

発行についてお世話をいたいたがなかた

小小柏嘉嘉金大小小岡岡牛上櫻石井石乾砂青荒朝安
曾上比
林磯井納納井淵野根崎部尾田並野野木木奈部
文
芳良健毅正元ツ一真伊吉將正成左信豊重正
衛
夫平一六治彦ム夫造忠子朗雄一明門一彦仁雄昇隆夫

津玉田田田淹淹竹角砂塙新白雀坂阪坂古後上小小
高井中村宮川川中南田路谷川部口本井林藤林林泉
和 健孝虎勝清 猛重義秀 昌千 時喜末英秀徳
一之
一櫻郎介彦二一郁夫民孝雄渥之介雄勝忠楽二一雄一

神行山若百村宮宮松福深原畠原野南難中中西外竹
戸
青吉口杉崎上地崎井富水 口沢部波西卷脇木島馬
年
会哉泰 辰正襄辰高芳惣泰專忠幸主 太健準
議 一次二 一
所女弘懿雄郎二雄男美吉良郎郎郎三還勝弘吉郎吉助



後編



新春第一号は「神戸と福祉」というテーマで、編集員全員で「神戸」のいぐさから福祉設を訪ねました。『経済ガム』が選舉の時だけではなく、本当に実のあるものになってくれれば、と心から願います。(権本 明)

★昨秋チヨンガーに別れを告げ、結婚いたしました。二人で初めて迎えたお正月、仲々いいものです。今年

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

阿なご寿司 青辰

神戸市生田区元町通3-184
TEL 331-3435

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538

和食くれない 三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぽう花くま 神戸市生田区花隈町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味西
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび
鍋もの ふる里 神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たちばな 三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

和風料理 樹 神戸市生田区下山手通3丁目41
トアロード西筋淡路交通入る TEL 391-8649

料亭 大しま 補合区熊内町6丁目39の6
TEL 221-1360-1945

寿司ミハラ 神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 391-3155

★西洋料理

レストラン アボロン 神戸市葺合区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン 皮あらかわ 神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547-231-3315

純フランス料理 エスカルゴ 神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 331-5034

レストラン・コーヒーショップ ルカカルトン 生田区北野町3-67-2
TEL 241-4321-4

ステーキハウス れんが亭 神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン 男爵 神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷 三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる 神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン キングスアームズ 神戸市葺合区磯坂通4-61
TEL 221-3774

グリル ケーンズ 東店 生田東門筋 TEL 391-0159
西店 農業会館西下ル TEL 391-3212

レストラン ムーンライト 三宮・生田新道
TEL 331-9554

串かつ店 和蘭陀屋 三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼 月 神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段 生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

イタリア料理 ドンナロイヤ 神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン ハイウェイ 神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス ピノツキオ 神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店 神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ティー・レストラン 那寿 三宮トアロード
TEL 391-1873

レストラン ミリオナークラブ 生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393~5
メンバーズ 221-1162

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門 神戸市生田区中山手通二丁目98/99
YMCA西側筋に入る TEL 331-5817

メキシコ小料理亭 ティファーナ 神戸市生田区山本通3丁目18回教寺院前
TEL 231-1188

★喫茶 フォーグ ウエスタン 口ーストシティ 神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770

宮水のコーヒー にしむら珈琲店 中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872-231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

modern Jazzさりげなく & Coffee 神戸市生田区北長狭2-22 TEL 331-9762
高級茶房 ミハラ 神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 321-4735

喫茶・レストラン バロンド 神戸三宮サンプラザ地下 TEL 391-1758
トアロード店 TEL 391-1210

★club くらぶ 阿以子 神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069

club 飛鳥 神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

エドワーズ俱楽部 神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

club 小万 神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638-4386

club さち 神戸市生田区中山手2丁目75
TEL 331-7120

クラブ佐久間 神戸市生田区東門筋ビウスタウンビル3F
TEL 321-2226~7

クラブ千 神戸市生田区中山手通り2丁目93 東洋ビル2F
TEL 391-1077

洋酒肆 仏蘭西屋 三宮生田新道相互タクシー北入る
TEL 321-0230

club なぎさ 神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

club 薺ふくき 神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

くらぶふーげん 三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light BAR TEL 331-0886-391-2696
Club TEL 331-0157

クラブるふらん 神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854
コーベインダストリアルクラブ (旧) 神戸実業倶楽部 神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 391-3155

★STAND & SNACK スタンド 英国屋 生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100-331-6600

スタンド エルゾタノ 神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

スタンド グラムール 生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

S N A C K MATSUMOTO 神戸市生田区中山手通1丁目32/3
曾根ビル1F TEL 241-5470

night house リチャード 神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F TEL 241-3041

スタンド さりげなく 生田区下山手通2丁目31
生田筋上高地西入る TEL 331-3714

グラタン小屋 5つの銅貨 神戸市生田区北長狭通2-14
金剛山西入ル TEL 391-1438

スナック ビジービー 神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー 生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

スナック シーザー 生田神社西門伊藤ビル地下
TEL 331-1429

洋酒の店

スネカジリっ子 神戸市生田区下山手通2丁目
水晃ビルB1 TEL 391-8708

サントノーレ 生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

でつさん 神戸市生田区北長狭通1丁目258
三宮映画山入る TEL 331-6778

アトラス 生田区中山手通1丁目95
TEL 331-5433

FAN FAN 神戸市生田区下山手通2丁目29
TEL 391-1410

GASTRO 神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

クラブ・ガーデニア 神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

山の手 神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 221-3637

娑羅 (SARA) 罗 生田区中山手1丁目91
TEL 391-1647

ダンディ 神戸市生田区・農業会館西筋上ル
天野ビル2F TEL 331-6450

マゼラン 神戸市生田区加納町4丁目1
TEL 391-2366

MORE MORE 神戸市生田区中山手通1丁目107
TEL 391-4162

山莊 神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

シャンティ 神戸・加納町3丁目布引ビル地下
TEL 231-5202

SNACK & DRINK ガスライト 神戸市生田区加納町3丁目1番地61
TEL 241-7724

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん

